

(発表方式 **Poster**)

醗酵紅参含有食品の冷え性に及ぼす影響

Effect of the Fermented Red Ginseng on cold constitution.

西村太輔¹、高橋千尋¹、松本聡²、戸上紘平³、丁野純男³

¹日生バイオ株式会社、²株式会社エル・エスコポーレーション、³道薬科大・応用薬・薬剤

Daisuke Nishimura¹, Chihiro Takahashi¹, Satoshi Matsumoto², Kohei Togami³,

Sumio Chono³

¹Nissei Bio Company, Limited; ²L.S Corporation; ³Dep. of Pharm., Hokkaido Pharm. Univ.

【目的】「冷え性」は病気ではなく、生活習慣や食生活の改善により、症状が緩和するといわれている。しかし、冷え性に悩む人は様々な改善方法を検討するものの、手軽に症状を緩和できずにいる。本研究では、冷え性の簡便な解決手段として、ショウガなどと共に、伝統的滋養強壮薬として知られる「紅参」を服用することで冷え性の症状改善が可能かどうか検討することを目的として検討を行った。

【方法】健常女性(21歳)8名を対象とし試験を行った。寺澤変法による冷え性判定アンケートを行った。その後、服用前体温を測定した。被検食品(高麗人参・紅参発酵製法検体)1mlを服用させ、継続的に繰り返し低温負荷を行い、負荷からの復温をサーモグラフィーにより測定した。

【結果】寺澤変法冷え性判定アンケートの結果、被験者8名の内、5名が冷え性の判定となった。服用前後の有意な体温変化は認められなかった。低温負荷からの復温測定では、全被験者での解析では有意な差は認められなかったが、冷え性の被験者のみで解析を行った場合、服用4時間後において低温負荷からの復温が早まっていることが分かった。

【結論】被検食品(高麗人参・紅参発酵製法検体)は、冷え性に対し、低温負荷からの復温を促進すること(低温負荷復温効果)が示された。また、冷え性ではない者が服用しても、異常な体温の上昇などは認められないことから、低温負荷復温効果が単純な体温上昇機能であるとは考えにくい。また、摂取後4時間で効果が表れることから、一般に報告されているショウガ成分とは異なる作用が示唆された。